

(6) 2017年(平成29年) 10月12日(木曜日)

健康が一番！ 電話の最後に、日本にいる母がいつも口癖のように言っていた言葉です。そう、健康だったらどんなことがあっても、何とか乗り越えることができるから。ところが、健康が一番大事だと思って気を付けていた私が、がんになってしまったのです。病気にだけはなりたくない、食事に気を付け、睡眠も十分に取るように心掛け、運動も週に2、3回していたのに、どうして？ 心中で何度も問い合わせました。

今わかることは、一番大切な事は健康ではないということです。幸い、がんといつても私の場合はステージ1の乳がんで、手術、集中放射線治療、抗癌剤治療と、3セツトすべてを終え、先日の定

期健診でも異常なしということがでした。確かに健康は大事だと、今でも思っています。ただ、健康であることが幸せにつながっているわけではなく、むしろ、健康を失った今

る力、そして、一日を生き抜くための神様の平安と愛の力です。具体的には、治療が始まつてから終わるまでの間、約半年、じつと耐えなければなりません。そして、

新しい力

南加キリスト教教会連合

池田 聖美

聖書の言葉や、いただいたカードを何度も読み返していくうちに、暗くなっていた私の心に光が灯されていくのを感じました。神様から、そして、人々から愛される喜び、までは、忙しく毎日活動するこれが私にとっての生きるたことが、私の次の活動へのエネルギーを生んでいくような生活のサイクルでした。それからこそ受けることができ

のです。仕事を失い、車も運転できない、家の中を歩くの

なことが起きるのか？ 自分の思い通りにならないこと

は誰にでもあると思います。

な時に神様は、さまざまな状況を通して、そつと静かに寄り添ってくださいます。そして、そこを乗り越えるための新しい力を注いでくださるの

です。それは、私たち一人一人を、より充実した人生に導きたいと願つておられるから

です。

「主は、ご自身の民に力を貸す。主は、平安をお与えになる。主は、平安をもって、ご自身の民を祝福される」(詩篇29篇11節)

(ウインターズバーグ長老教会)